

No.154

4月号

令和5年4月15日

みちくわ

新しい企画で!! チーム対抗ゲーム大会

2月1日、8日、ゲーム大会を行いました。入居者の方々には、全員参加して頂くために10人1組で8チームに分かれチーム対抗と銘打ってゲームして頂きました。

まず、1回戦は黒ひげ危機一髪で勝負です。黒ひげの頭を飛ばしてしまったチームの負けとなります。これを2回戦行いました。どのチームからも歓声が上がり、勝っても負けても大笑い。首が5個1度に飛び出すのですから、こんな刺激的な事めったにありません。

2回戦は昔懐かし福笑いです。1チームから1名代表者にやって頂きました。いずれも力作揃いで1つずつは評価しにくいのですが、8チーム並べて掲示し、後日職員と入居者に1番良いなと思うものに投票してもらい、その点数がチームの加点になります。1日目はこれにて終了、とても白熱した勝負になりました。

2日目は翌週8日に同じ時間で開始。3回戦はワニワニパニックです。ワニに噛まれたチームが負けとなり、相手チームに点数が入ります。3本勝負ではありましたが、楽しさのあまりあつと言う間に3回戦が終了しました。

結果発表と表彰式は22日のふれあい広場と同時に開催。見事1位となったチームは記念品を胸に抱き自慢げに記念撮影して頂きました。

コロナ禍に有って久しぶりの刺激的な非日常を体験して頂きたくさんの笑顔が見られました。企画に携わった職員や協力して盛り上げてくれた皆様に感謝いたします。

- 障害者支援施設 金浜療護園
- 指定特定相談支援事業所 かねはま
- 居宅介護支援事業所「かねはま」
TEL 017-739-7208 FAX 017-739-4077
- デイサービスセンター かねはま
TEL 017-739-7201 FAX 017-739-4482
- 〒030-0144 青森県青森市大字大別内字葛野180番地
kinryo@isis.ocn.ne.jp



社会福祉法人 心和会
<http://kanehama.jp>

- 認知症対応型グループホーム あんしんハウス
TEL 017-739-1477 FAX 017-739-1400
〒030-0852 青森県青森市大野字若宮151番19号
ansin-h@mail2.actv.ne.jp

発行所：社会福祉法人心和会 障害者支援施設 金浜療護園

令和5年度

社会福祉法人 心和会 事業計画

令和5年度の社会福祉法人心和会事業計画書の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

当法人は、昭和52年設立以来、今年で46年を迎えます。現在は85名の入居定員と2名の短期入所の定員を持つ障害者支援施設金浜療護園、高齢の方と障害をお持ちの方がご利用しているデイサービスセンターかねはま、介護保険利用の調整を行う指定居宅介護支援事業所「かねはま」、高齢の方々が生活する認知症対応型グループホームあんしんハウス、障害をお持ちの方の相談を受ける指定特定相談支援事業所かねはまの5事業を運営しています。

さて、令和4年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症による影響が続き、青森県においても発症者が多く、当法人内でも職員、ご利用者様が感染する事態となり、関係者の方々にはご心配をおかけしましたが、皆様からの励ましの言葉を基に終息させることができ、改めて関係者の方々のお札を申し上げます。今後も、コロナウイルスとは上手に付き合わなければならぬ事柄と認識を新たにして、ご利用者様へのサービスを感染対策の基安全を確保しながら、慎重に、柔軟に、希望の叶う日常を取り戻していくべきと考えております。

また、施設設備につきまして、福祉避難所としての機能を充実させる為の災害時の非常用発電機の設置、更に、ご利用者様の高齢化に伴う介護負担の軽減の要望に応え、金浜療護園の普通浴の改修、それぞれ令和4年に完成させることができました事をご報告すると共に、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、令和5年度に掲げる方針ですが、昨年度からの『再構築』を継続する事となりました。法人内の各事業所では、変化してきた生活様式に対応しながらご利用者様の生活を再構築し、また社会福祉法人として、持続可能な開発目標（SDGs）が目指す『「誰一人取り残さない」社会』の実現に向け、当法人がこれまで取り組んできました社会貢献活動を見直しつつ、改めて計画し、そして実行と再構築をしていきます。

当法人の経営理念『「敬愛」「互譲」「正義」「信奉』4つの真心で、地域に愛され、ともに歩む』を基に、利用者様には「施設を利用して良かった」、地域の方々には「施設があって良かった」、職員には「施設で仕事ができて良かった」と感じる事ができる施設づくりの為に、職員一丸となって取り組む所存です。今後とも、一層のご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。

末筆となりましたが、皆様の益々のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

令和5年3月吉日

社会福祉法人 心和会

障害者支援施設 金浜療護園

副園長 今 千佳子

金浜療護園事業計画

障害者支援施設金浜療護園は、昭和53年の開設以来、身体に障害のある方々を受入れ、現在は生活介護事業、施設入所支援事業、及び短期入所事業を行い、人権尊重を柱として「施設を利用して良かった」と言われる施設づくりを目指し、常に利用者と同じ目線に立って運営することを心がけ、今年で46年を迎えます。

コロナ禍により令和2年度頃から現在まで行事や面会等の制限や自粛が続く中、入居者や利用者の皆様の笑顔の為にアイディアを出し合い、できる行事は行って参りました。

感染やクラスターの脅威にさらされる中、国や行政等の計らいにより、昨年度から積極的に抗原検査を行うことができ、第2類相当に分類されていた新型コロナウイルスも、令和5年度にはインフルエンザと同等の第5類に移行する方針が政府より正式に発表となり、待ち望んでいた自粛や制限のある生活の解除が大いに期待され、今後はコロナウイルスを警戒しつつの共存生活となりそうです。

もうしばらくは制限のある生活を強いられることにはなりますが、令和5年度は通常の生活が再開され、面会等で入居者家族と再会でき、皆様の本当の笑顔が戻ってくるのかと前向きに考える事ができ、安堵の気持ちです。

しかしながら感染症対策には気を抜かず、基本的な感染対策に万全を期し、また、物価高騰が続く中でも、利用者への良質なサービス提供の継続は勿論のこと、同時に当園で定める各種規程やマニュアル類と連動した職員の育成や定着を目指しサービス向上を目指します。

当園の基本姿勢として、福祉サービスを必要とする方が心身ともに健やかに育成され、社会、経済、文化等のあらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるとともに、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、地域において必要なサービスを総合的に提供されるよう、「地域に施設があって良かった」と思っていただけるようなサービス提供を推進します。

施設年間行事計画

月別	行 事	備 考
令和 5年 4月	外出支援 健診断 誕生会 ふれあい広場 防災総合訓練 花見会 クリーン作戦	園外への外出（買い物等）の支援及び食事を楽しむ。 定期的健康管理に万全を期す。 誕生日の方をお祝いし激励と親睦を深める。 毎月1回定期的に入居者と職員との話し合いの場を開催する。 災害による非常事態に備え総合訓練を実施する。 自然に親しみを持たせる。 地域道路清掃奉仕活動
5月	外出支援 誕生会 バーベキュー ふれあい広場 防災部分訓練 家族会役員会	利用者・職員がバーベキューを楽しむ。 各種訓練を通して非常時に備える。 施設側と家族会で行事等の打合せ
6月	運動会 外出支援 防災部分訓練 誕生会 ふれあい広場	体力向上とレクリエーションを目的として開催
7月	外出支援 誕生会 ふれあい広場 防災部分訓練 浅虫花火大会観覧	サンセット浅虫ビーチの桟敷席にて花火を楽しむ。
8月	青森ねぶた祭観覧 外出支援 療護園祭 お盆帰省 防災部分訓練 誕生会 ふれあい広場	盆踊り、模擬店、カラオケ、花火等を催し、家族、地域住民との交流を図る。 先祖供養の墓参りと家族との交流
9月	外出支援 防災部分訓練 誕生会 地区共同防災訓練 バーベキュー ふれあい広場	避難所の提供を想定した訓練 利用者・職員がバーベキューを楽しむ。

月別	行 事	備 考
10月	家族会役員会 家族会総会 外出支援 防災総合訓練 健 康 診 断 誕 生 会 ふれあい広場	家族会の行事及び総会について協議する。 前年度事業実績及び決算、新年度事業計画及び予算等報告
11月	外出支援 文化祭 防災部分訓練 誕 生 会 ふれあい広場	利用者と職員合同の各種演技等の発表と作品展示
12月	外出支援 救急法救命講習 防災部分訓練 忘 年 会 パ ー テ ィ 一 会 誕 生 会 も ち つ き 会 ふれあい広場 年末(正月)帰省	講師指導の下、AEDの使用方法及び救急法を学ぶ。 利用者・家族と職員が一年間の生活を振りかえり、パーティーを開催し、懇談する。 慰问の方々と、もちつきを行い、もちを味わいながら交流を図る。 家族とのふれあいを図り、絆を深める。
令和6年 1月	外出支援 新年会 誕 生 会 防災部分訓練 ふれあい広場	利用者・家族と職員が新しい年を祝って会食する。
2月	節 分 外出支援 室内ゲーム大会 防災部分訓練 誕 生 会 ふれあい広場	園の食堂にて豆まきを行う。 オセロ、トランプ、花札、マージャン等を皆で楽しむ。
3月	外出支援 防災部分訓練 誕 生 会 ふれあい広場 洋ランまつり見学	平内町夜越山の洋ランまつり見学

金浜療護園職員構成

令和5年2月1日現在

職名	現員	職名	現員	職名	現員
園長	1	理学療法士	1 [1]	管理栄養士	1
医師	1 [2]	柔道整復師	[1]	調理員	5
サービス管理責任者	1 [3]	マッサージ師	[2]	事務員	5 [3]
看護師	2 [2]	生活支援員	36 [13]	その他の従業者	1 [1]
准看護師	3	生活支援員(夜間専門)	2	職員数	59 [17] [2]

注〔〕は、兼務職員数、□は嘱託

令和5年度

収支予算書

(自)令和5年4月1日
(至)令和6年3月31日

単位(円)

勘定科目		予算額
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入 97,669,777
	障害福祉サービス等事業収入	484,335,957
	その他の収入 他	2,380,000
	事業活動収入計(1)	
	584,385,734	
	支出	人件費支出 379,043,000
	事業費支出	106,623,330
	事務費支出	117,554,720
	社会貢献活動費支出 他	3,943,592
	事業活動支出計(2)	
	607,164,642	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 22,778,908
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)
	支出	設備資金借入金元金償還支出 14,712,000
	支出	固定資産取得支出 12,480,000
	施設整備等支出計(5)	
	27,192,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 27,192,000
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入 他 83,530,000
	その他の活動収入計(7)	
	支出	積立資産支出 他 26,892,000
	その他の活動支出計(8)	
	56,638,000	
予備費支出(10)=(3)+(6)+(9)		6,667,092
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0
前期末支払資金残高(12)		341,770,123
当期末支払資金残高(11)+(12)		341,770,123

令和5年度 指定居宅介護支援事業所「かねはま」事業計画書

運営方針（今年度計画）

この事業所が行う居宅介護支援事業は、高齢者が要介護状態となった場合においても可能な限り居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるように支援することを目的としています。

居宅介護支援の提供にあたっては、利用者的心身の状況、その置かれている環境等に応じて利用者の選択に基づき適切な保険医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、その人らしい自立支援に向けた適正なケアプランづくりに心掛けます。その際、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の事業者に不当に偏る事のないよう、公正中立に行いその事業の実施に当たっては、市町村、他事業所との連携に努めます。

令和5年度 指定特定相談支援事業所かねはま 事業計画書

運営方針（今年度計画）

「指定特定相談支援事業所かねはま」は、利用者（障害者またはその家族）の意思、人格、意向を尊重しながら、利用者に適切で効果的な福祉サービス利用をして頂くことを目的とし、身体障害者のみを対象とした相談支援事業所として青森市より指定を受け、現在に至ります。

特定相談支援事業は、利用者の一般的な相談、困り事や悩み事を考え、障害福祉サービス等を利用するにあたって、各市町村がサービスの支給決定する際に、その利用に向けた「サービス等利用計画案」を作成します。

支給決定後は、障害福祉サービス事業者等との連絡調整等を行い、その後「サービス利用計画」を作成します。

そして福祉サービス利用後は定期的なモニタリングを行いながら、利用者により良いサービス利用をしていただくことができるよう、必要に応じて障害福祉サービス等の支給決定や支給量の変更、更新といったサービス利用の調整を行います。

また、昨今の感染症にも、できる限りの対策を講じながら利用者に充実と安心した生活をしていただくことが出来るように、最大限の努力と支援を継続します。

利用者のニーズに応え、より充実した生活やサービス提供のお手伝いができるよう、研修等に参加し、相談支援専門員として自己研鑽に努め、関係機関・事業所・団体等との連携を強化します。

特に昨今は地域で暮らす障害者の日常を支援するため、所轄する青森市を中心に様々な協力体制が求められており、できる限り協力しながら業務を遂行します。

そして、障害者が自立した日常生活や社会生活ができるよう、また、障害者やそのご家族等の心身の状況やその置かれている環境に応じて、障害者やそのご家族の自己決定に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労、教育などの福祉サービスが、多様な事業所等から総合的に且つ効率的に提供できるよう配慮し、不当に偏ることがないように公正中立に行います。

○営業日及び営業時間

営業日：月曜日～金曜日まで（12月29日～1月3日までと国民の祝日を除く）

営業時間：7：55～17：30まで

○相談窓口：相談支援専門員

担当 電話：017-739-7208

FAX：017-739-4077

令和5年度 認知症対応型グループホームあんしんハウス 事業計画書

運営方針

ホームの理念である「敬愛」・「安心」・「共生」の精神を職員、入居者がそれぞれ強く認識して、入居者の皆様がその人らしく生きる姿を、温かな心と確かな専門性をもって支えます。また、その人の有する能力を見極め、発揮する機会と活躍の場を提供します。

ホームがお世話になっている地元の若宮町会や青森市おおの地域包括支援センター、日赤ボランティアの方々とは、様々な行事や運営推進会議などを通じ交流を図ることで、地域に根ざしたホームを目指していきたいと思います。

利用定員

2ユニットタイプ(9人×2ユニット=18人)

認知症対応型グループホームあんしんハウス年間行事計画

月別	行 事	月別	行 事
4月	外出支援、花見会	10月	紅葉見物、外出支援
5月	外出支援、総合防災訓練	11月	金浜療護園文化祭見学、外出支援、総合防災訓練
6月	金浜療護園運動会参加、外出支援	12月	クリスマス会、外出支援
7月	外出支援、防災訓練	1月	合同新年会、防災訓練、外出支援
8月	ねぶた祭見学、金浜療護園祭参加、外出支援	2月	節分、外出支援
9月	敬老会、防災訓練、外出支援	3月	外出支援、ひな祭、防災訓練

令和5年度 デイサービスセンターかねはま 事業計画書

運営方針（今年度計画）

デイサービスセンターかねはまでは、「地域密着型通所介護」と「介護予防通所介護相当事業（総合事業）」の2つの事業を行っています。

「地域密着型通所介護」は、在宅で生活する65歳以上の高齢者又は、特定疾患（障害）を持っていいる要介護と認定された方に対しサービスの提供を行っています。

また、「介護予防通所介護相当事業（総合事業）」は、平成29年4月に介護保険法が改正され、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）として、各市町村（青森市）が主体となって行われております。当事業所が要支援者と認定された利用者の介護の予防を目的としたサービス提供を行っています。

いずれの事業も通所によるサービスであり、地域で暮らす利用者に対して送迎・入浴・食事・身体介護・機能訓練・健康指導・創作活動・相談援助などを通して、利用者が住み慣れた地域で、皆で支えながら、できる限り自立し、生きがいを持った日常生活ができるよう、また、家庭に対してサービスを通して、身体的、精神的な負担の軽減のお手伝いができるように支援します。

地域との連携、地域共生社会が強く求められる中、利用者の孤立感の解消や社会参加、地域との良好な関係構築のためにも、地域の代表者等を交えながらの運営推進会議を核に、情報報告・開示により事業所の透明性の確保をしながら、貴重な意見等を頂き、地域住民・関係機関・各事業所・団体・関係者等との連携を強化していきます。

また、近年は大雨などの自然災害や様々な感染症が多く、特に新型コロナウイルス感染症に伴い今後の先行きがいまだ不透明な中、感染症対策と安全確保に万全を期し、そして利用者確保対策のためにも積極的にPR活動を行なながら、目まぐるしい環境の変化に隨時柔軟に対応できる質の高いサービスの提供を目指します。

デイサービスセンターかねはま職員構成

令和5年2月1日現在

職 名	職 員	職 名	職 員
所長（管理者）	[1]	マッサージ師	[2]
生活相談員	*[2]		
介護員	1 [3]		
看護師	[2]		
理学療法士	*[1]	職 員 数	1 [8]

注〔 〕は、兼務職員数

※所長は生活相談員、理学療法士を兼務

日課計画表

8:00	9:30	10:30	12:00	13:00	14:00	16:00
送迎車運行	健康チェック (体温、血圧)	入浴 ○機能回復訓練（終日）	嚥下体操 昼食	マッサージ 相談援助	○レクリエーション（14:00～） クロスワード、風船パレー、 ぬり絵、カラオケ、学習、 パソコン、音楽鑑賞、 ゲーム、集団体操など	送迎車運行
		相談援助	車椅子操作訓練 トランクファーレ訓練 食事動作訓練 更衣動作訓練 トイレ動作訓練		○創作活動（13:00～） 陶芸・生け花・書道 手芸	

利用定員

・通所介護 1日 15名

利用日及び料金

月曜日から金曜日まで（但し、国民の祝日、休日及び年末年始お盆等を除く）

利用料 介護保険報酬の規定通り

業務時間

午前7時55分から午後5時30分まで（利用提供時間 9:30～16:00）

2022年度「ユニバース 愛のチャリティー募金」寄贈式



令和5年2月24日（金）に株式会社ユニバース様より愛のチャリティー募金の寄贈があり、当施設で大野店店長をお迎えし、贈呈式を行いました。

寄贈品の内容は入浴の際に移乗で使用するトランスファーBOARDと脚のむくみを軽減する機器のメドマーで使用する足置きです。ユニバース様のこういった福祉現場で必要な物品を寄贈する活動は、今年で39年目を迎えています。

当法人の金浜療護園でも過去に寄贈していただいております。デイサービスでも平成14年に寄贈していただき、今回で2度目となります。皆様も買い物でお世話になっており、普段から目にしていると思いますが、そういう場所が私たちの職場である福祉と関わりがあることを改めて感じることができました。

今回寄贈していただいた品は利用者様にとっては安全に、職員にとっては業務がしやすいように有効活用していきたいです。

金浜療護園

日 中 活 動



春の陽気を感じられる日がみられ、コロナウイルス収束の兆しが見えはじめました。3月13日からマスクの着用において、個人の主体的な選択を尊重するとし、個人の判断が基本となりました。社会的に感染対策は緩和方向へと大きく舵をきりました。しかし、油断は禁物です。職員は週2回の抗原検査を行い、感染対策を緩めることなく生活しています。入居者の皆様においでは、行事の中止や外出の規制等が当たる前にになってしまい、物事に対する意欲がない状況を強いられていきました。この状況を少しずつ変えていこうと、日中活動時に余暇活動だけでなく、園内で活用できるものを作成する作業活動を始めました。

手始めに、食堂に掲示するカレンダー作りを行いました。普段あまり日中活動に顔を出さない入居者にも声をかけ、作業に参加してもらい、春らしい色合いのカレンダーが完成しました。カレンダーには、絵を描き入れてもらいました。カレンダー以外にも不要となった布でウエス作りしたり、メモ帳を作ったりしました。ある入居者から、「役に立ててうれしい」という声が聞かれました。これからは少しづつ作業活動を増やし、入居者に“役に立てている”と感じてもらえる支援をしていきたいと思います。

デイサービスセンターかねはま午後の時間



デイサービスセンターかねはまでは、午後の時間に皆様それぞれの時間を過ごしています。マッサージチェアで寛いだり、メドマー（足の浮腫み等を緩和する。）やホットパック（体を部分的に温める。）など体のケアを行ったり、ウォーキングや歩行器で運動したり、ブーリー運動で手の筋力を鍛える方もいます。

また、花札・麻雀・オセロなどでゲームを行ったり、カラオケを歌うなど楽しまれています。

こんなデイサービスセンターかねはまに見学しに来ませんか？お待ちしております。

あんしんハウス 桃の節句「ひな祭り会」 みんなが少女に還る日です。

令和5年3月3日（金）恒例のひな祭り会を開催しました。

女性の割合が圧倒的に多いあんしんハウスでは毎年大盛り上がりする行事です。

皆で協力してこしらえた茶巾寿司の黄色にピンクの桜餅、目にも鮮やかなお膳を前に皆さんすっかり笑顔になっています。普段食の細い方もあつという間に完食です。大きなひな人形の前でお一人ずつ記念撮影をしましたが、なぜか皆さんもじもじと恥ずかしそうに「なんだかめぐせの」と笑っていました。「うれしいひなまつり」の歌を合唱した後には次々と春の歌のリクエストが続き、歌った数は十曲ほどになりました。



やはりいくつになっても桃の節句は心が華やぐようで、皆さん子供のようにはしゃいでいらっしゃいました。まだまだ気軽に外出が出来ない毎日ですので、節目の行事を大事にして、これからも皆で楽しんでいこうと思います。

お誕生日おめでとうございます

金浜療護園 誕生者

5月

木村様 上村様 田畠様 本崎様
梨田様 小澤様 北田様
工藤様 小田桐様

6月

佐藤様 須藤様 千葉様
工藤様 稲垣様 畠山様
加藤様 柳谷様

デイサービス 誕生者

5月

木村様 大川様 古川様 佐藤様
渋谷様 山内様

6月

田中様 遠嶋様 大山様
高坂様

グループホーム

あんしんハウス誕生者

5月

高坂様 志方様

6月

岡田様 工藤様

行事予定 4月～6月迄

4月

5日(水)誕生会

9日(日)春の防災総合訓練
(14:30~)

19日(水)健康診断
(7:00~)

16日・23日(日)花見ドライブ

26日(水)ふれあい広場

5月

10日(水)誕生会

17日(水)ふれあい広場

6月

4日(日)運動会

7日(水)誕生会

21日(水)ふれあい広場

※日程は変更になる場合がありますのでご了承ください。

介護員室便り

雪解けも進み、待ちに待った春がやってきました。令和5年度の始まりです。自施設におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため面会、外出、行事等自粛を余儀なくされている状況ですが少しずつリモート面会から対面式の面会、短時間ではありますが

サンロード青森への外出支援、また縮小されていた行事も利用者様全員が参加出来るようなゲーム大会にする等、趣向を変え実施しています。今後も利用者様が健全で安全な生活を送り毎日笑顔で過ごす事ができるよう、より一層の注意をはらって支援を行っていきたいと思います。

編集後記

新年度が始まって第1回のみちくさ発行となりましたが、皆様楽しんでいただけたでしょうか。雪もすっかり溶けてたくさん太陽を浴びられる季節がやって来ます。今年は去年よりもたくさん外の空気を吸い込んで、たくさんの笑顔が見られることを楽しみにしています。ただし油断禁物で、緩めるところは緩めても締めるところはしっかりと締めた上で楽しく日々を過ごしていきたいですね！今年度も機関紙みちくさをよろしくお願ひいたします。